

新コンクリート養生剤

チチブコンキユート

コンクリートには打設後の条件により硬化時ひび割れ(初期ひび割れ)が発生する事例が多く報告されています。この条件とは「気温、温度」「湿度」「風速」「直射日光」などの自然環境の他に「コンクリート配合」「下地の状態」「仕上げ鏝のタイミング」「前置き時間(蒸気養生時)」など様々です。

チチブコンキユートはこのような硬化時ひび割れ減少に多大な効果があります。また、他の養生膜剤のように型枠などに付着しても成膜することはありませんので型枠掃除もスムーズです。

1. 使用部位

- ① コンクリート直押さえ
- ② RC 及び PC コンクリート平板
- ③ 戸建住宅の土間コンクリート押さえ
- ④ 戸建住宅の天端材
- ⑤ 無収縮グラウト材、他、セメント製品全般

2. 荷姿

4kg/ポリ缶 (4缶/箱)

※4kg 缶を 5 倍希釈すると約 100m² 分の面積に塗布(2回塗布)できます

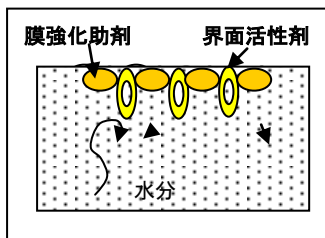
3. 使用方法

- ① 生コンを打設して粗仕上げ後に 1 回目の散布を行なう(5倍希釈液で 0.1kg/m²)
- ② 締めり後に最終仕上げを行う
- ③ 直ちに 2 回目の散布を行なう(5倍希釈液で 0.1kg/m²)

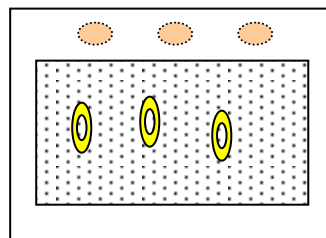
4. 特長

- ① 水性かつ環境に安全です
- ② コンクリート表面からの急激な水分発散を減少してプラスチックひび割れを大きく減少させます
- ③ 成膜しないので型枠掃除に手間がかかりません
- ④ 当該商品の成分はコンクリート内部に浸透又は蒸発するので表面の美観を損ないません
- ⑤ コンクリート物性に悪影響を及ぼしません
- ⑥ 5倍希釈で使用しますので経済的です

5. チチブコンキユートのしくみ



散布すると「膜強化助剤」と「界面活性剤」が引張り合い緻密な膜を形成して水分蒸発を減少させる



コンクリート硬化後に「膜強化助剤」は蒸発する。「界面活性剤」はコンクリート内部に浸透して無害化となる

6. 物性(弊社での試験結果)

	水分損失量 (g/m ²)
コンキユート	1000~1500
無処理	2500~3000

	表面反発度
コンキユート	30~34
無処理	27~30

戸建住宅の床コンクリート



散布状況



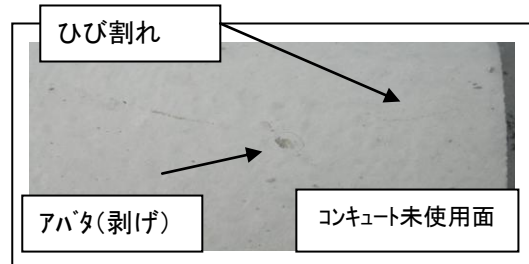
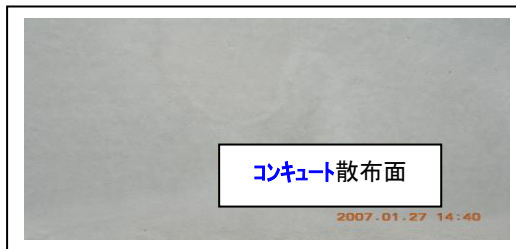
コンキユート使用 クラック無し

コンキユート未使用 クラック発生

RC 及び PC コンクリート平板



散布状況



注意事項

- 凍結が予想される場合の施工は取りやめるか、凍結防止の保温措置等を行ってください。
- 一度開封した材料は、早めに使い切ってください。
- 材料の保管は、0~40°Cの範囲の屋内で行ってください。
- 皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないように十分に注意してください。万一、皮膚や粘膜に付いた場合は、速やかに清水で洗浄してください。また、異常を感じた場合は専門医の診断を受けてください。眼に入った場合は、速やかに清水で洗浄し、専門医の診断を受けてください。
- 廃液を処理する場合は、産業廃棄物として処理してください。側溝・河川・湖沼・海等には絶対に廃棄しないで下さい。
- ポリ容器は、中身を使い切ってから産業廃棄物として処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご覧ください

秩 父 コ ン ク リ ー ト 工 業 株 式 会 社

営業部 〒110-0005 東京都台東区上野 7-7-6

TEL03-3844-5062 fax03-3844-5087

工 場 〒360-0825 埼玉県熊谷市月見町 2 丁目 1 番 1 号

TEL048-521-2161 fax 048-521-2764